

2学期を迎えて

本校のホームページを訪問していただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大を受け、3月から全国の学校が臨時休校となるさなか、4月1日の着任から5か月間が過ぎました。

本年度は、約2か月間の臨時休業で失われた授業時間を回復すべく、夏季や冬季休業期間を短縮したり、学校行事の規模や日程を見直したりするなど、年間行事計画を大幅に変更しています。そのため、本校では、1学期を8月7日まで、2学期の開始を8月24日とし、現在、すでに2学期が始まったところです。

さて、本年度は、コロナ禍の真ただ中とはいえ、本校にとっては、創立100周年という記念すべき年でもあります。多大なご寄附をいただき、おかげをもちまして記念事業の柱である正門・中庭等整備事業は進み、去る8月24日、2学期始業式の前に、完成式典を挙行することができました。当日は、愛知県独自の緊急事態宣言下であったため、代表生徒のみの参加という規模を縮小した形での式典でしたが、完成を祝い、多くの皆様方に心より感謝の意を伝えたく謝辞を述べさせていただきました。

新正門の正面には、伝統ある校章が刻まれ、その内壁部分には、新たに制定されたスクールマークが設置されました。このマークは、「国府高校の「K」の字を起点に、自由に、しなやかに、やわらかに、生徒たちの未来の可能性が膨らんでいくこと」を表現しています。

新正門の開口部は、これまでの倍となる12メートルとなり、正門を入ってすぐのところにスクールマークがデザインされた広場を設け、さらにまっすぐ中庭を通過して校舎奥のひょうたん池へと続く小道も整備しました。小道横には、生徒たちの憩いの場・活動の場となるよう芝生を敷き詰めています。

毎日この門を通り、校章を望み、スクールマークを見つめるにつけ、ここで学んだ生徒たち、さらにはこれからこの門を目指し入ってくる生徒たちに、無限の可能性が広がってほしいという思いがこみ上げてきます。この正門に込められた思いに応えるべく、本校の教育の充実と発展に全力で取り組む所存です。

校長 伊與田 万知